

# Hm<sup>2</sup>助成支援団体のご紹介

## ファッションセラピーの会ヒロシマ

代表 いとう つねお 伊藤 恒夫さん (福祉理美容師)

9月17日のファッションショー ▶

ファッションセラピーの会ヒロシマは、高齢者や障害のある方々におしゃれをしてもらうことでファッションセラピー (おしゃれの効用) を広め、実感してもらうお手伝いをする目的で平成21年に結成した団体です。

ボランティアとして参加。  
今年9月17日で第4回を迎えたショーには総勢120名ものスタッフが参加してくれたそうです。

活動は、年に1回開く「ヘア&ふれあいファッションショー」を中心に、不定期で講演会やおしゃれに関するふれあい教室を3~4回開催しています。

「初めは、『人生の思い出になれば…』といった思いで参加した方も、実際のショーに出演すると皆さんとても感激し喜んでくれています。5月、ショーに出演するモデルの募集を呼び掛けたところ、9歳から90歳の方まで59名応募をいただきました。説明会后、実際にエントリーし、衣裳合わせをして男女49名が『カラードレス部門・ウエディングドレス部門』の洋の世界や和服を着る『和の世界』など5部門に出演。参加した理由も『普段と違う自分になりたい』『認知症予防のために』と様々でしたが、みなさん楽しんでいただくことができました。

### 綺麗に着飾って、心を華やかに

「理美容師の仲間と広島市社会福祉センターのイベントにカット奉仕のボランティアとして参加したのがきっかけです。そこで、広島市社協ボランティア情報センター職員の鈴木さんと出会って話をしたときに、高齢者や障害者、悩みを抱えている人たちにモデルとなってもらう着飾って心を明るくしてもらい、ふさがちな気分を少しでも晴れやかにできるイベントの企画の話がでて、仲間の美容師に声を掛けたのが始まりです。

このショーを続けることが、参加される方の心の支えとなり、気持ちが前に向かって進んでいき、明日につながる笑顔になることを、伊藤さんをはじめとする会のメンバー、そしてボランティアとして関わっている方は願っているそうです。また、ご支援頂いた多くの皆さまへの感謝の気持ちを語ってくれました。

第1回目の出演モデルは、17名でスタートしたショーも、回を重ねるごとに美容師やスタイリスト、お花の先生など様々なジャンルの方々がそれぞれの本業の強みを活かした



## 読み聞かせボランティア「あさがおの会」

会長 すずき ひでこ 鈴木 英子さん

会員の皆さん ▶

読み聞かせボランティア「あさがおの会」は、広島市安芸区で活動しており、毎月2回ほど中野東小学校の1年生から4年生を対象に、授業開始前の15分間を利用して読み聞かせを行っています。

を選択。毎回交代で20名のメンバーの中から8名が学校に向きます。事前にそれぞれの自宅で読み聞かせの練習を行った後、本番を迎えているそうです。また、平成24年8月6日の学校の平和学習会では、小学校の体育館で原爆に関する絵本『ひろしまのピカ』をスクリーンを使って読み聞かせを行い、少しずつ活動の輪を広げています。

「もともとは、平成21年4月中野東小学校の校長先生から、子どもたちに読み聞かせを通じて、心豊かな子どもを育成したいから協力して欲しいと依頼されて、広島市安芸区内を中心に活動されている朗読グループ「安芸朗読会」と「はる」の活動を見学に行ったのがきっかけです。見学に行った5人は、初めは読み聞かせをすることにに対して恥ずかしさもありましたが、何度か一緒に読み聞かせ活動をさせていただき、子どもたちが目をキラキラさせながら聞き入る姿にやりがいを感じるようになりました。朗読グループ「安芸朗読会」と「はる」とは半年余り一緒に活動した後、平成22年から正式に「あさがおの会」をスタートさせました」と会長の鈴木英子さんは語ります。

「これからは、小学校はもちろんですが地域の保育園や他のボランティア活動をされている方々、社会福祉協議会とも連携して定期的に集会所などでも読み聞かせを行う予定です。そして、読まなくなった絵本を回収して修理し、小学校や保育園、児童館などへの寄贈する運動も広げていきたいと考えています。本の読み聞かせを通して、会のメンバーが楽しく活動できれば、また、この活動を始めた頃の子どもたちが、今春には中学校に入学しました。彼らも、何らかの形で活動に加わってくれることで地域のつながりも広がってくるのでは、と考えています」と鈴木英子さんは思いを語ってくれました。

### 個から集へ拡大してまちのつながりへ結びつける

発足後は、中野東小学校での月2回の活動をスタート。学校の図書館や安芸区の図書館から実際に読み聞かせで使う本



▶ 卒業生による読み聞かせ

## 基町地区社会福祉協議会・ほのぼの文庫基町運営委員会

委員長 とくひろ ちかとし 徳弘 親利さん

シャッターの壁画 ▶



開所式典 ▲

広島市中区基町地区の住民が、地元の市営基町ショッピングセンターの空き店舗を活用して平成24年8月に誕生したのが「ほのぼの文庫基町」です。

ターの壁画を制作した広島市立基町高校創造表現コースの生徒さんが参加されました。40平方メートルの文庫内には、本棚や読書用のカウンターを設置。まずは絵本や図鑑など小中学生向けを中心に約400冊の本を置きました。「開所にあたり、市立中央図書館や市民団体からも寄贈をいただき、400冊のうち約100冊は基町小学校から借りた中国語の本です。これからは、もっと本の数を増やして読み聞かせ会なども行えればと考えています」。管理、運営は基町小学校PTAや地区の社会福祉協議会のメンバーを中心とした運営委員会が担当。利用については、基町小学校区の方を対象に、しばらくの間は、毎週木曜日の夕方2時間のみの開館ですが、少しずつ増やしていくことも考えているそうです。

現在、基町地区は外国人市民が市内で最も多い地域で、基町小学校も保護者が外国籍である児童が多くなっています。言葉や文化の違いからコミュニティ形成に大きく支障をきたしていると感じた基町地区社会福祉協議会では、外国人市民との交流促進の必要性を実感。問題解決のキーワードとして、図書を通じてお互いの国の言葉や文化を学び、コミュニケーションを図っていきたくと考えています。

「コミュニケーションを図るのは簡単ではありませんが、このほのぼの文庫をきっかけに外国人の方も積極的に地域の住民とコミュニケーションを図ってもらい、地域行事にも参加していただき、基町の多文化共生のまちづくりを進めていければと考えています」と徳弘親利委員長は語ってくれました。

### 地域交流の拡大でまちづくりを継続する

「地域には、中央公民館や、子ども図書館、中央図書館等もありますが、地元主導のミニ図書館を作ることで、幼児も高齢者も、日本人も外国人も全ての人が交流することで町内の連携も活発化するのではないかと思います」と委員長の徳弘親利さんは語ります。

8月に行われた「ほのぼの文庫基町」の開所式には、地元住民や近隣の小学校の関係者の方々、そしてシャッ

## 寄付のお願い

「ひと・まち広島未来づくりファンドHm<sup>2</sup>(ふむふむ)」は、市民・企業・行政等が力を合わせて、市民のまちづくり活動を長期にわたり支え育てていこうという基金です。現在、その基金を取り崩して助成を行っています。私たちの住む広島のまちをよりよくしていくために、できるだけ多くの皆さまからの寄付をお願いします。

**振込先** 広島銀行広島市役所支店/別段預金 No.3000017

**口座名義** 公益信託広島市まちづくり活動支援基金寄付金受入口  
専用の振込用紙をご使用いただければ、手数料はかかりません(ただし、広島銀行の窓口からの振込に限りです)。広島銀行の振込用紙を使用、または他の金融機関からの振込の場合、手数料は自己負担となります。  
※この公益信託への寄付に対して税の減免はございません。  
※頂戴したご寄付は、毎月末日締めにて集計し、翌月の5日(休日の場合は翌営業日)に基金へ寄付させていただきます。



基金の愛称「Hm<sup>2</sup>(ふむふむ)」とは…【ひと(Hito) まち(Machi) 広島(Hiroshima) 未来づくり(Miraizukuri) ファンド】の略で、頭文字(HMHM)をとって「ふむふむ」と読みます。「ひと」と「まち」をつなぎ、「広島」の「未来」を創造するファンドで、みんなが「ふむふむ」と納得しながら共感が広がっていくまちづくりをイメージしています。



(財)広島市未来都市創造財団では、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動を支援し、市民、企業、行政の協働によるまちづくりを推進するための仕組みづくりとして、公益信託による基金「ひと・まち広島未来づくりファンドHm<sup>2</sup>(ふむふむ)」を設けています。

この基金は、豊かでいきいきとした市民社会づくりを目指すため、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動に対する助成事業を行っており、助成先は公開により、学識経験者などで構成する運営委員会が審査・選考を行っています。

平成24年度助成団体や助成額等については、(財)広島市未来都市創造財団ひと・まちネットワーク部のホームページでご覧いただけます。

<http://www.cf.city.hiroshima.jp/hitomachi/>

# 人材バンク 名人宝人 達人

さまざまな分野の達人たちが登録している  
まちづくりボランティア人材バンク。地域活動や  
まちづくりのお手伝いに、今日も、あなたのまちを  
達人たちがおうかがいしています。

## 言葉とイメージをプラス思考に変える事で 時の流れも良い方向に向き、夢の実現も…

ピース広島メンタルヘルス協会

米村 哲次さん

前職時代、100人ほどの部下のマネージメントに携わることになったときに心理学の必要性を感じた米村哲次さん。1年半ほど仕事をしながら大阪のメンタルヘルス協会に通って協会の公認カウンセラーの資格を取得しました。

「部下から仕事や日常生活の不満に関する話が増えて、多くの離職者も出た事から、その環境を改善するために探して辿り着いたのが心理学でした。資格取得後は、人の話をプラス思考



で開け、僕も接する態度を変えた事で、表情や考え方も変わって業績も上昇し、仕事も面白くなってきました。この経験から、もっと心理学の楽しさを多くの人に知ってもらいたいと考えて協会を設立しました。

米村さんは、まずは広島を中心山口、岡山でカウンセリング講座や心理学セミナーをスタート。当初は、セミナーの参加者がゼロの時もあったそうですが、一人、二人と参加者が現れて、やがて米村さんのプラス思考でユーモア溢れる話術が話題を呼ぶようになりと講座も定期的に開講できるまで参加者が増えていきました。顔馴染みの生徒さんからは

「つづくと親しみを込めて呼ばれるようになったそうです。現在は、企業と契約して社員教育の講師を務めたり、心理学を基本とし



セミナーの様子

た講演活動、女性限定で人間関係や恋愛に関する各種セミナーを開催しています。「何事も言葉とイメージをポジティブに考えることで、人の行動も変わって良い方向に進んでいくものです。私にも夢があるように、皆さんにもそれぞれ夢があるはず。私は一人でも多くの人の夢が実現できるように、夢を叶えるためのアドバイスをして、皆さんが目の前にある幸せに気が付いてもらえるお手伝いができればと思っています」。

今後は、全国で講演活動を行って、その成功事例を本にまとめて出版し、多くの人たちにその体験談を読んで幸せになつてもらおうのが、米村さんの夢だそうです。一番最後に米村さんが言われる人間関係を良好にすること自分を開示することだそうです。

## 懐かしの昭和メロディを一緒に歌って、 歌の魅力を伝え、社会への恩返しも…

帯刀 昭二さん

大学卒業後から、35年ほどレコード会社に勤務した経験を活かして、現在は、自らマイクを握って公民館や病院、福祉施設を訪れて歌の持つ魅力を伝えているのが帯刀昭二さんです。

「子どもの頃から、浪曲や昭和初期の歌を歌うことが大好きで、大学卒業後はレコード会社に就職しました。営業、宣伝、制作といった仕事に携わった中であらゆるジャンルの歌に触れて、どんな曲なら売れてヒットするのかを肌で感じ、見てきました。退職が近

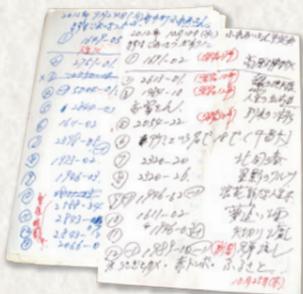


づくにつれて、歌が持っている魅力をもっと多くの人たちに伝えたい。そして、これまで社会にお世話になった恩返しを自分ができることでした。と考えるようになったのが、この活動をはじめたきっかけです。

平成17年、帯刀さんは病院や福祉施設を中心とした歌のボランティア活動をスタート。行く先々で、お年寄りを中心とした人たちと一緒に歌って楽しみ、そして、時代と共に忘れ去られたある名曲の普及に努め、歌い継ぐ活動を行っています。



会場では、誰もが一度は耳にしたことのある古賀政男や船村徹が作った昭和歌謡曲と演歌を帯刀さんがレコード会社勤務の時代



▲曲目がびっしり書かれたボランティア当日の帯刀さんのメモ

「ボランティア活動は、週に2回程度、ひと月に7〜8回行っています。歌う時間は場所によって違うので、持ち歌のレパートリーもたくさん準備しています。お休みの日には、ひとりでカラオケボックスについて新曲を含めて歌の練習をしています」。

歌を歌って楽しいときもあれば、辛いときもあったり、その感情は日によって違うそうですが、みんなが楽しそうに歌う姿を見ると、帯刀さん自身も勇気づけられているとか。これからは、もっと歌う場所を増やして多くの人たちと触れ合い、歌の持つ魅力を伝え、より皆さまに元気になってもらえればと願っているそうです。

### いろいろなジャンルの達人がいてほしい。

#### まちづくりボランティア 人材バンクって何？

地域活動や手づくりイベントなどを進める中で、「アドバイスが欲しい」「教えてほしい」と思うことはありませんか？まちづくりボランティア人材バンクは、身につけた技術やノウハウを活かしボランティアとして活動する人々を「達人」として登録し、その力を必要とする市民グループ等に紹介・斡旋を行っています。

人材バンク登録内容リストはプラザや公民館などにあります。  
また、ひろしま情報アーネスト  
<http://www.anestinfo.hiroshima.jp/>  
でも見る事ができます。

#### 広島市高齢者作品展で ステージ発表しました。



9月2日に、広島市高齢者作品展の協賛事業として、人材バンク登録者によるステージ発表を開催しました。内容は子ども神楽の上演、マジシャンの競演、紙芝居「東北まち物語」の上演、健康体操にもなる日本舞踊の披露など盛りだくさん！ここで当日の来場者のみなさんの声を紹介します。

「子どもたちが頑張って神楽を演じている姿が、かわいくて微笑ましくて楽しませていただきました」「ハワイアン楽器の柔らかい音色と甘い歌声に聴きほれました」「バナナの叩き売りを初めて観ました。口上の巧みさに驚きました」

今回のステージ発表を通して、みなさんには登録者の技を堪能いただきました。このような機会にぜひご来場いただき、みなさんの地域活動や手づくりイベントの企画の参考としてみてはいかがでしょうか。

#### まちづくりボランティア 人材バンク発表会

今回ご紹介している「名人・達人・宝人」は、「まちづくりボランティア人材バンク」に登録されています。発表会では、登録者が自らの達人ぶりを披露します。参加は自由ですので、気軽にお立ち寄りください。

月日	内容	出演者名
12月22日(土)	お正月飾りを手作りしましょう	舞 ひかるさん
1月26日(土)	新春民謡まつり&交通安全クマ太郎	元村 操さん
2月23日(土)	折り鶴 変形・変化鶴の折り紙体験	紙ニューケーション.net 和(ノキロ)
3月23日(土)	保養温泉セミナー&森林セラピーの紹介	ひろしま健康づくりチーム90

※内容等変更になる場合があります。

紹介申込・登録申込などの  
お問い合わせは…  
まちづくり市民交流プラザへ  
☎(082)5453911  
☎(082)5453838